

事前評価書

年度	R1
整理番号	

事業名・路線名等	(単)道路改良事業 一般県道 <small>コウバルタマライ</small> 神原玉来線 <small>オオタ</small> 太田工区	事業主体	大分県
所在地	竹田市大字太田 <small>オオタ</small>		
事業概要	事業の目的	当該路線は、沿線住民の生活道路として利用されている重要な路線であり、また、竹田市医師会病院及び避難所である祖峰小学校入田分館へのアクセス道路であるが、当該区間は、幅員が狭小・線形不良のため、車両が離合困難な状況で走行に対する安全性が確保されていない状況となっている。 このため、道路改良の実施により、通行車両の走行性・安全性の向上を図るものである。	
	事業内容	【計画延長・幅員】 区間延長L=1,800m、整備延長L=900m(1.5車線)、W=4.0(5.0)m 【道路区分】 第3種第5級 【設計速度】 V=30km/h 【計画交通量】 450台/日 (H42) 【現況幅員・交通量】 W=4.0m(最小) 交通量 459台/日(H27)	
	事業費	C=330百万円	
事業の実施計画	完成予定年	着手から6年(令和7年度)	
	事業段階毎の実施計画	1年目 測量、地質調査、道路詳細設計、関係機関との協議 2年目 用地測量、用地買収 3年目 用地買収、道路工事 4年目 道路工事 5年目 道路工事 6年目 道路工事	
事業の必要性	必要性・緊急性	<ul style="list-style-type: none"> ・当該路線を利用する、入田地区74世帯151人、壱岳(うばだけ)地区96世帯202人の生活道路 ・救急時において、竹田医師会病院への最短ルート ・災害時において、避難場所である祖峰小学校、入田分館へのアクセス ・祖峰小学校のスクールバス運行路線(運行本数は1日2便:小学生9名利用) ・竹田市コミュニティバス運行路線(運行本数は1日5便) 	
	整備効果	<ul style="list-style-type: none"> ・線形不良、幅員狭小の解消による安全な道路空間の確保 ・災害時における生命線道路確保による防災・減災面強化 ・地域道路網の整備による地域住民の竹田市中心部へのアクセス改善 ・祖母傾大崩ユネスコエコパークへのツーリズム支援 	
事業手法・工法の妥当性	費用対効果分析	・1.5車線の道路整備のため、費用便益分析比の算出は困難であり、道路利用状況、交通の状況等から総合的に判断する	
	工法の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・道路法、道路構造令に適合した工法を採用。 ・1.5車線の整備手法を採用し早期の事業効果発現を図る。 	
	コスト縮減	<ul style="list-style-type: none"> ・1.5車線の整備手法の採用し、コスト縮減を図る。 ・建設発生土を盛土材に利用する。 ・アスファルト、コンクリート、採石は再生資材活用を図る。 	
	環境等への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・地形の変更は可能な限り小さい計画としている。 ・改良箇所周辺の住環境に配慮し、低騒音・低振動の建設機械を使用する。 	
事業実施環境	事業の実効性	<ul style="list-style-type: none"> ・地元自治会で構成される期成会からの要望書提出 ・1.5車線の整備にかかる事前説明を実施し承諾を得ており、協力体制は整っている。 	
	事業の成立性	・道路法第29条に基づき事業を実施。	
	事業の特殊性	・特になし	
対応方針	・以上のとおり事業の必要性が認められることから、本事業を実施したい。		

事業箇所位置図

